構造設備及び予防措置の概要(エックス線装置) <別紙>

		ックス線管焦点から1メートルの距離における利用線錐以外のエックス線 空気カーマ率	mGy/時			
エックス線装置のエックス線障害	管理	· 家の総ろ過		mmA1当量		
		レデンサ式の場合、エックス線高電圧の充電の状態における照射時以外の 独可能表面から5センチメートルの距離におけるエックス線の空気カーマ		μ Gy/時		
	,	透視中の患者の入射面の利用線錐の中心における空気カーマ率		mGy/分		
	透視用装置	透視時間の積算及び警告ができるタイマー	□有	無		
		エックス線管焦点皮膚間距離制御装置	□有	無		
		蛍光板(I・I)の有効面積外照射防止装置	□有	無		
		利用線錐中の蛍光板 (I・I)等の受像器を通過後の接触可能表面から 10センチメートルの距離におけるエックス線の空気カーマ率		μ Gy/時		
		透視時の最大受像面を3.0センチメートル超える部分の接触可能表面から10センチメートルの距離におけるエックス線の空気カーマ率		μ Gy/時		
		利用線錐以外のエックス線 遮へい装置	□有	無		
	歯ラ	学用以外の受像面の有効面積外照射防止装置	□有	無		
の		接撮影用装置 焦点皮膚間距離		cm以上		
防 止	胸部集検用間接撮影用装置	蛍光板(I・I)の有効面積外照射防止装置	□有	□無		
に関す		受像器の1次防護遮へい体による装置の接触可能表面から10センチメー トルの距離におけるエックス線の空気カーマ		μ Gy/ばく射		
る構		被照射体の周囲に箱状の遮へい体を設けた場合のその遮へい体の接触可能 表面から10センチメートルの距離におけるエックス線の空気カーマ		μ Gy/ばく射		
造設	移動用装置	使用中の表示	□有	無		
備		立入り制限措置	□有	無		
及		撮影時の防護措置	□有	無		
び		装置の保管場所・方法	-			
予防世	歯科用装置	照射野(皮膚面)	直径 cm	cm × cm		
措置		<u></u> 焦点皮膚間距離	Cili	× cm		
一の 概 要		エックス線装置の接触可能表面から5センチメートルの距離における利用 線錐以外の空気カーマ率		mGy/時		
		エックス線管焦点から1メートルの距離における利用線錐以外の空気カーマ率		mGy/時		
		ろ過板が引き抜かれたときエックス線の発生を遮断するインターロック		無		

構造設備及び予防措置の概要 (エックス線診療室)

	主要構造部等の構造			等の構造	耐火構造・不燃材料・その他 ()							
エッ		<u> </u>		遮蔽物	構	造	į	材	料	厚	さ	(cm)
クス			天	井								
線	診	周	1									
診療	療	囲	2									
室の	室	の	3									
エ	の	画	4									
ック	防	壁	監	視用窓								
ス 線	護	等	出力	人口の扉								
障	物			床								
害の		そ	の他	の開口部	口有(用	途)	□無
防止		操		作 室	□有□□]無(理由)
に 関	診療室の標識								□有 □無			
す	工	エックス線障害の防止に必要な				4項の掲示			□有 □無			
る構		管理区域を設ける場所										
造設	管理区域	境界における実効線量(最大値)									m	Sv/3月
備		立入り制限措置							□有 □無			
及 び		標識							□有 □無			
予防		Н	ックス線	象使用中の表	示				□有 □無			
措		也の 界	敷地内 実効線	居住区域及(量(最大値)	が敷地の境	界における					μ	Sv/3月
置の											m	Sv/3月
概要	取	y扱者	か 被ば	く防護用具								
	取	y 扱者	か被ば	く測定器具								
エッ	- ックス線診療室に設置(設置を予定)しているその(t								□有 □無			
	型	式				放射線障害 予防措置の						
	用	途				概要						